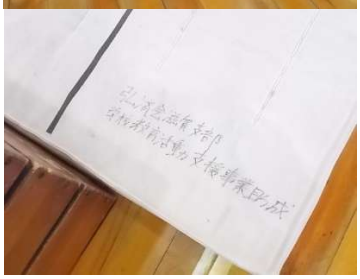
＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　運動の楽しさやできた喜びを大切にした体育科学習

【学校名】　大津市立　志賀小学校

１　本校の概要

大津市の中心市街地北部に位置する大津市立志賀小学校は、後方に比叡山、前方にびわ湖を望む丘に建っている。湖西線や京阪電車が通り、京阪神のベッドタウンとしてマンションも多く建てられている。今年度の児童数約８００名、学級数は３１学級の大規模校であり、この傾向はしばらく続くものと思われる。この地域は古くから開け、大津の宮の中心があったことも明らかになっている。小学校の周辺には、多くの遺跡があり、すぐ近くには南滋賀廃寺跡がある。これらの遺跡で発掘された瓦や土器等の一部が小学校内に保管されている。



２　助成申請の経緯

数十年も前から使用しているマットを未だに使っており、マットのみみや角、淵が破れてしまっているマットが多い。毎年修理はするものの、大変危険な状態での使用を余儀なくされている。予算的にも大変厳しく、今回、学校教育活動支援事業を知り、助成申請させていただいた。

３　取り組んだ内容

体育科の授業において、低学年では「マットを使った運動遊び」や「跳び箱を使った運動遊び」、中学年からは「マット運動」「跳び箱運動」の領域においてマットを使用した。また、本校は大規模校ゆえ、マットの使用頻度も非常に高く、上記の運動領域以外にも様々な運動領域において活用することができた。

４　活動の成果

マットが１枚増えたことにより、「マット運動」や「跳び箱運動」において、学習の場の設定に工夫が加えられ、自身の力に合った場、挑戦できそうな場で、生き生きと楽しく学習することができるようになった。また、それぞれの学年の発達段階や運動の特性に応じて、運動の楽しさやできた喜びを十分に味合わせながら、基礎となる動きや感覚を養い、体力向上につなげることができ、たいへんありがたく、喜んでいます。

jigyo@shiga-kyoko.jp